

ゾウリムシにおける接合型物質の研究：  
接合活性特異的ポリペプチドの解析

千葉 祐太, 芳賀 信幸

(石巻専修大・院理工)

**【要旨】** 接合型物質はゾウリムシの接合過程において性認識を司るタンパク質だとされている。本研究の目的は接合型物質の同定とその遺伝情報の解明である。本研究では、接合型物質が存在する繊毛膜由来の分画を調製し、交配反応を誘導する活性が分画にあることを確認した。また、接合活性が発現する時期のゾウリムシに由来する繊毛膜分画にのみ現れるポリペプチドを選定した（約 52 kDa）。このポリペプチドのアミノ酸配列解析の結果、いくつかの部分アミノ酸配列が得られ、これらは Paramecium DB 上でヨツヒメゾウリムシが持つ未知のタンパク質に含まれていた。